

令和元年度学長の業務執行状況の確認について

令和2年2月3日
学長選考会議

学長選考会議は、広島大学長の業績評価の実施に関する申合せ(平成26年6月10日学長選考会議決定)第3に基づき、下記のとおり令和元年度学長の業務執行状況の確認を行った。

記

1. 経過

(1) 令和元年度第1回学長選考会議(R1.9.5)

令和元年度学長の業務執行状況の確認の実施方法、スケジュールについて、検討を行い、学長のヒアリングを中心に実施することとした。併せて、学長のヒアリング資料となる学長の業務執行状況の確認の報告書及び監事からの意見書の様式の検討を行った。

(2) 令和元年度第2回学長選考会議(R2.1.23)

学長のヒアリングを実施した。

2. 確認内容

○ 大学のビジョンの周知等について

学長としての4年間の取組み、また課題を振り返り、再任にあたっての所信表明を行い、広島大学が目指す方向性について広く学内外に表明していることを確認した。

○ 大学改革に向けた取組について

「広島大学の大学院再編についての考え方」に基づき、令和2年4月に大学院人間社会科学研究所及び大学院先進理工系科学研究科が設置されることを確認した。

さらに、インドネシアからの留学生受入数の拡大や同国との積極的な学術交流の推進に取り組んでいるとともに、世界トップレベルの大学から学生を受け入れるなど、精力的に広島大学の国際化に取り組んでいることを確認した。

○ ガバナンス体制の構築について

新たな運営体制の構築に向けて、学内の合意形成を図りながら、体制整備を進めていることを確認した。

また、理事・監事と連携を図るとともに、本学学生を学長特任補佐として指名し、教職員に限らず広く構成員の意見を取り入れていることを確認した。

さらに、人的資源の適切な管理を行うため、組織改編等により職員の適切な配置が行われるよう留意していることを確認した。

○ 対外的取組について

文部科学省「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決(DSIGN-i)」に採択され、東広島市と共同して「サステナブル・ユニヴァーシティ・タウン」の創生に取り組んでいることを確認した。

○ その他

学部1年次生及び2年次生の保護者・ご家族を対象に保護者向け「広島大学地域懇談会」を開

催し、広島大学の修学・キャリア支援等への理解を深めてもらうことに取り組んでいることを確認した。

3. 確認結果

学長選考会議は、令和元年度学長の業務執行状況について、上記確認内容のとおり、学長の業務が着実に執行されていることを確認した。